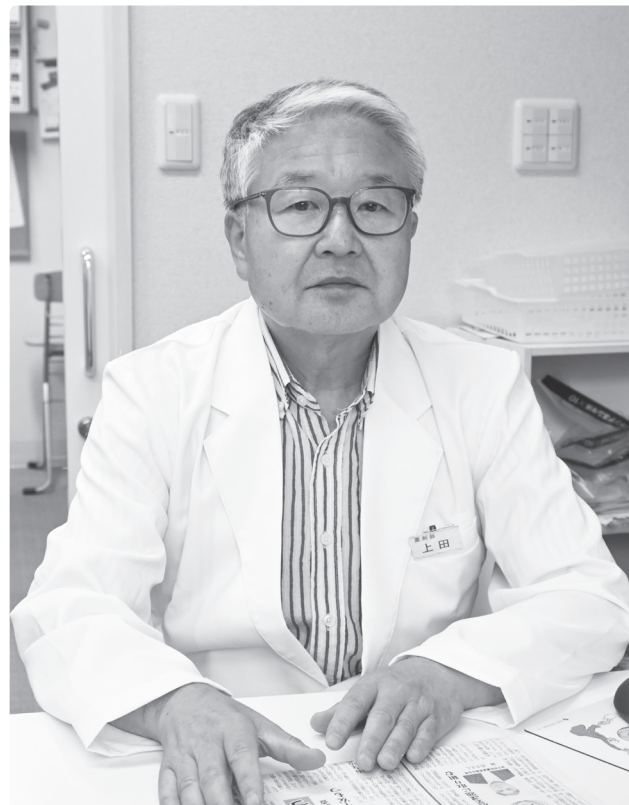




人いきいき

地域に根差した薬局として

上田 則文さん（北見市 62歳）

訓子府クリニックの院外薬局として薬を処方してきた東町薬局の事業を5月に承継したつぐみメディカル株式会社代表取締役で薬剤師の上田さん。「地域の皆さんにとって身近な薬局をめざしていきたい」と抱負を話してくれました。

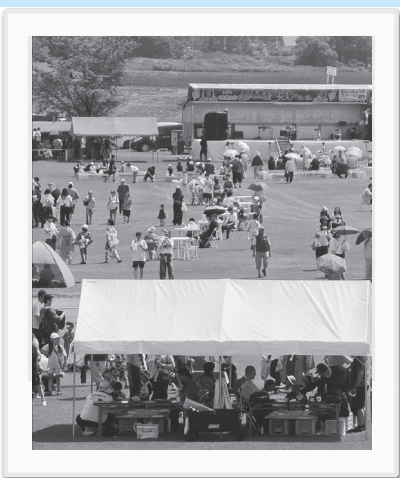
「広島県東広島市出身です。大学まで地元で過ごし、卒業後も地元で営業していた実家の薬局に勤務しましたが、知人・友人の縁で北海道の薬局へ転職し、中標津町から転勤で陸別町へ、そのあと北見市の別の薬局に勤務しました。令和7年から東町薬局に勤務し、令和8年5月に同薬局を事業承継しました」

「5月に町の店舗出店等支援事業に認定され、調剤薬局として処方箋調剤のほかに一般医薬品と健康食品などの販売を行うようになりました。医薬品は地域性や季節性の疾病も考慮しながら、これから冬期に向けて風邪薬や使い捨てカイロなどの取り扱いも予定しています。また、店舗内の限られたスペースでは取り扱いできる商品に限りがあるため、店頭にはない商品は取り寄せで対応します。今後に向けて希望される方には、薬を中心に自宅への配達も検討したいと考えています」

「薬剤師として、服薬や医薬品について患者に分かりやすく説明を行い、納得していただけるように日々心掛けています。地域の皆さんにとって身近な薬局をめざして、地域に貢献したいと考えています。できるだけ地域の皆さんの要望に応えていきたいと考えていますので、気軽に相談していただきたいですね」



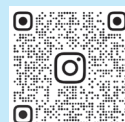
大槻一男ホナウド隊員が伝える訓子府町の魅力紹介



7月11日～12日に開催された「第47回くんねっふふるさとまつり」で2日間の様子を撮影し、8本の短い動画にまとめてSNSで1日1本ずつ発信しました。町を代表するイベントの魅力を伝えるとともに、まつりの思い出を映像として残しました。

※下記QRから、ふるさとまつり第1弾の動画をご覧ください。また、続きの7本の動画もプロフィールから視聴できます。

Instagram ▶



Facebook ▶



地域おこし協力隊
大槻一男ホナウド
(ブラジル出身)

地域おこし協力隊だより（小見 飛翔）

訓子府町は今年、開基130年という節目の年を迎えました。この節目を記念して、11月29日(日)に町屋内ゲートボール場で「訓子府町開基130年記念町民モルック大会」を開催します。昨年開催した第1回大会には、100人近くの町民の方が参加しました。今回は開基130年にちなみ、130人の参加を目標に企画しています。

モルックは、初めての方でも気軽に楽しめるスポーツです。家族や友人と一緒にぜひ参加してください。

また、大会前には屋内ゲートボール場を練習場として開放しますので、気軽に参加してください。

皆さんと一緒に、モルックで開基130年を盛り上げることを楽しみにしています。



短歌 訓子府短歌会

記憶とは幼き日より信じ来て三つ子の魂置き去りにして	東幸町 中島 玲子
今年もまた玉葱列車が大都会へ苦労も夢も総て積み込み	東幸町 吉野 良華
男爵の花を歌いし入選のあるじを讀え浜木綿も咲く	大谷 昆野 範雄
斎場にハーモニカの音響きゐる「知床旅情」に故人偲ぶる	旭町 瀬谷 隆夫
暑き日にアイス食べ食べ庭眺め草取りあとの庭はスツクリ	日出 山内スミエ
トランプの赤根所長への制裁に何も云へずの日本でいい	西 富 山本 祐一
豊穣の秋を迎えて安堵して玉葱列車の存続憂う	清住 太田 豊
友人の送り言葉の胸に沁むハーモニカ吹きて友に届けと	大町 佐藤 幸子
画が歪む震度七なる熊本に胸砕くよに猛暑がつづく	西幸町 及川乃里子
大会で一日外で汗をかく塗ってもとれる日焼け止めクリーム	北見市 小泉 智也
暮れてゆく秋のはじめの影のびて木影すずしや葉擦れすがしや	西幸町 長江 建夫
縁側に蜘蛛の糸引く豪邸の主なき蜜柑寂しくポトリ	愛知県 植田 重信
善光寺閻の戒壇巡り行く極楽浄土の錠前探しつ	埼玉県 石川 知子
テッパンでえんどうのつる手を探し右往左往に無理！ごめんね	末広町 佐藤 末子

※作品は、「訓子府短歌会」の選定により掲載しています。